

其の事務三箇年を産出する結果三月六日第一回會展交遊
 協同したる御返事不審の緣に未開答を付し御禮に於ける迄
 由の貴協多申合せ次第を後十日を以て明瞭に御返答を
 寄す事出丁二十四日二階會館式場開會多事會館を以て自
 願御業員が半日給與の又海を即へ一月二十一日前開會
 一月十日日總雜會員が夫々御返答の期未を御答に於ける
 一、海業員御禮
 二、御禮
 三、御禮
 四、御禮
 五、御禮
 六、御禮
 七、御禮
 八、御禮
 九、御禮
 十、御禮

封入 協同會福岡出張所
 福岡 協同會福岡出張所

封入 協同會福岡出張所

をなしたのである。

○第一回會見狀況

一、坑二名宛計十名の代表は午前十時鐵業所御吉田所長、荒木
 庶務課長等と會見し前記要求事項を示し回答を求めたる處會
 社側は年功打切は認めず賃金値上等の歎願に對して左の通り
 支給する旨回答した。

一、賃金値上の件左の標準により出産奨勵金を支給す

1、本奨勵金は左の區分により之を支給す

イ、採炭夫 出勤一方に付 二拾錢

ロ、坑内日給夫 同 拾七錢

ハ、坑外日給夫(但傭人を除く)同 拾六錢

ニ、傭人(給仕、小使、自動車運轉手、看護婦見習を

除く) 出勤一方に付 拾貳錢